1 学年通信 最終号

学年団より

☆学年主任 吉田康輔先生☆

「一年間どうぞごしましたか。」とたずねられてははっきりと答えられる人はそんなに多くないと思います。来年度ははっきりと答えられるように、基本的な生活ルールを守り、学習、部活動等に一生懸命取り組んでほしいと思います。一年間お疲れさまでした。来年度も多方面で良い報告が聞こえてくる期待しかしてませんよ。

☆生物生産科 担任 上野真二先生☆

進級おめでとうございます(気が早い?)。2年生へ上がる皆さんへ伝えたいことは「自己分析」の大切さです。自己分析とは、自分自身の過去の体験や思考を整理し、自分の能力や性質、価値観を理解し、今後自分はどうありたいのか、どんな人になりたいのか、を考えていくことです。「自分は何をしたいのか分からない・・・」「自分は何ができるのか・・・」と相談しに来る人がいますが、正直「なおさら他人に分かる訳ないだろう!」と思います。私から見た“あなた”を伝えることはできますが、「あなたの本当の姿」はあなたしか分からないのです。とは言え、己を知るといことはなかなか難しく、時間のかかることです。3年生の進路を決める直前になってから考えるなんて、まず不可能です。そこで皆さんには、「自分自身を俯瞰(ふかん)して見ること」を、“今から”してほしいと思います。自分の行動や発言を振り返ることを「意識的」に行うことで、完全ではないにしろ、自分の性質や適性を知るきっかけになるはずです。今年は、インターンシップや修学旅行など様々な体験・経験が控えています。皆さんが「自分を知る一年」になれるよう、私たちは全力でサポートしていきます。今年もよろしくお祈りします。

☆園芸福祉科 担任 佐藤多恵先生☆

2月頃、今年度の授業や行事の写真を見返す機会がありました。そこに写る皆さんの表情のうち、一番多かったのは笑顔や生き生きとした表情で、次に真剣な顔でした。新型コロナウイルスの影響でイレギュラーなことが多い一年間でしたが、そんな中でも皆さんは日々の授業や実習によく努め、クラスマッチや置農祭、WAKUWAK ワークなどの行事にも熱心に取り組んでいたのだなあと、改めて思いました。生徒会・農業クラブ活動や部活動においても、皆さんの頑張りを褒める言葉が聞こえてきました。一年間、総じてよく頑張ったのではないのでしょうか。お疲れさま。この一年間で努力したことは、必ず君たちの身になっています。「足りなかったなあ」と思うところがあっても大丈夫です。これからの成長のチャンスと見ましょ。皆さんならきちんと反省し、次の自身の取り組みに活かせるはず。そうしてコツコツと励み、これからも自分の可能性を伸ばしてほしいと思います。

☆食料環境科 担任 今井吉紀先生☆

みんなはきっと知っているよね、“ライトニング・マックイーン”。『カーズ』の主人公だ。あの真っ赤なレーシングカーは、まるで以前乗っていた私の車のようだ…(知らないだろうけど)。そんなことを言いたいのではない。これまでは、自分自身のこと(優勝すること)しか考えていなかったマックイーンだが、ラジエーター・スプリングスという町で多くの人たち、いや車たちとかかわることで、その温かさや大切さに気付くことができた。結果だけを追い求めていたばかりに、もっと大切なことを見失っていたのだ。うまくいかないのは、周りが動いてくれないからではない。まずは相手を受け入れること。面倒くさがらず、たくさんの人とかかわってみよう! 人生で大事なものは、ゴールではなくそこに辿り着くまでの過程である。